

学年が上がるにつれオンラインでの人間関係についてのルール設定率が拡大

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

◆ポイント◆

- ・小学校高学年にかけて個人情報の公開や料金に関するルール設定率が拡大。
- ・中学生になるとオンラインでの人間関係についてのルール設定率が拡大。
- ・使い過ぎてしまう理由は「楽しくてやめられないため」が多く、中学生では男女差がみられる。

1. 調査結果：

1-1. スマートフォン利用の親子間ルールの設定率 —学年が上がるごとにルール設定内容は異なる—

小中学生のスマホ利用の親子間ルールについて、全国のスマートフォンを利用する小中学生の保護者に伺いました。その結果、「スマホを使うのは決められた時間だけ」「食事中にスマホを利用しない」は小学校低学年でも6割以上が設定していました。また、小学校低学年から高学年になるにかけて個人情報の公開や料金に関するルール設定率が拡大していました。中学生になるとオンラインでの人間関係についてのルール設定率が拡大していました。その一方「子どものLINEやメールのメッセージを親が確認する」「スマホを使うのは決められた場所だけ」は中学生になると設定率が下がっていました。

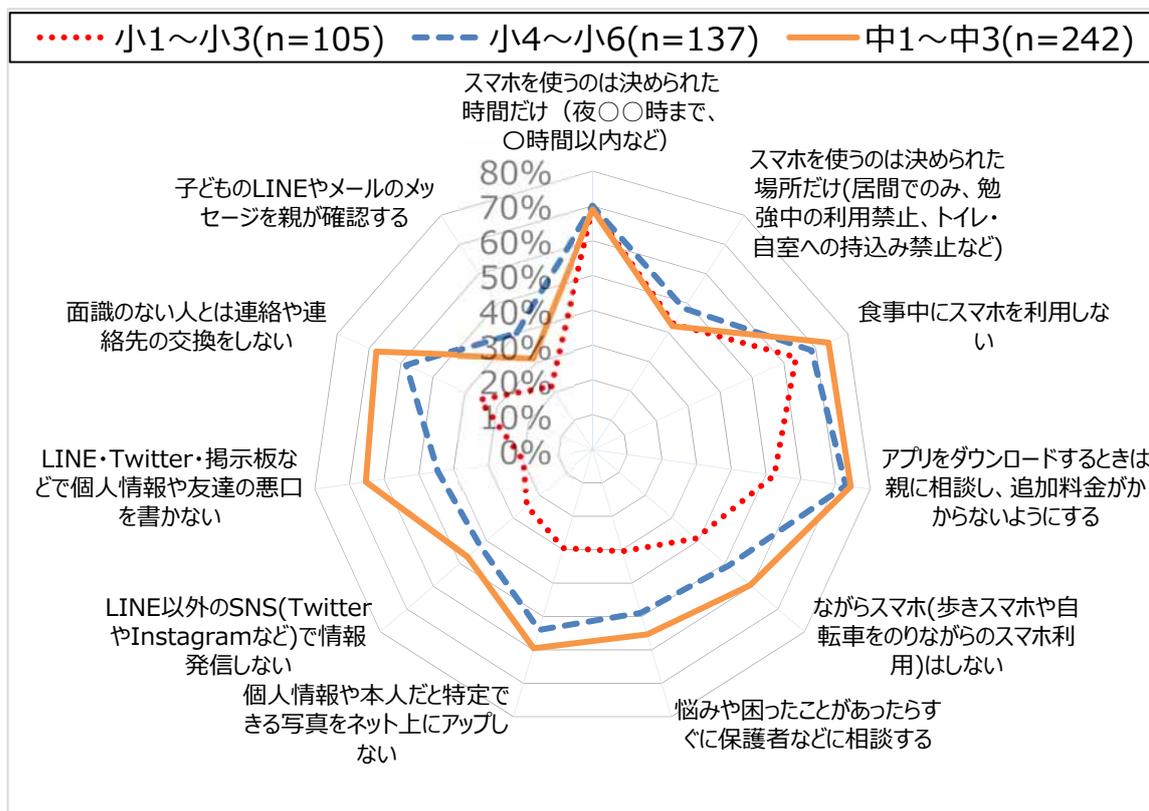


図 1. スマートフォン利用の親子間ルール(学年別)

[調査対象：全国のスマートフォンを利用する小中学生の保護者が回答]

1-2. スマホを使い過ぎてしまう理由

—「楽しくてやめられないため」が多く、中学生では男女差がみられる—

それでは小中学生がスマートフォンを使い過ぎてしまう背景にはどのような理由があるのでしょうか。スマホを利用する小中学生の保護者に「お子様がスマホを長時間使い過ぎてしまうことはありますか。」と伺いました。

その結果、スマホを利用する中学生の保護者の9割以上が「使い過ぎていると思う」と回答していました。

「使い過ぎていると思う」と回答した保護者にその理由を伺った結果は、中学生では「楽しくてやめられないため」が男女ともに最も多く、男子が約7割、女子が約6割となりました。

また、中学生の女子は「友だちや世間で話題となっていることを見逃したくないと思っているため」「友だち付き合いのため」「家族や部活・習い事・塾などの連絡のため」が中学生の男子より10~15ポイントほど多い傾向が見られました。

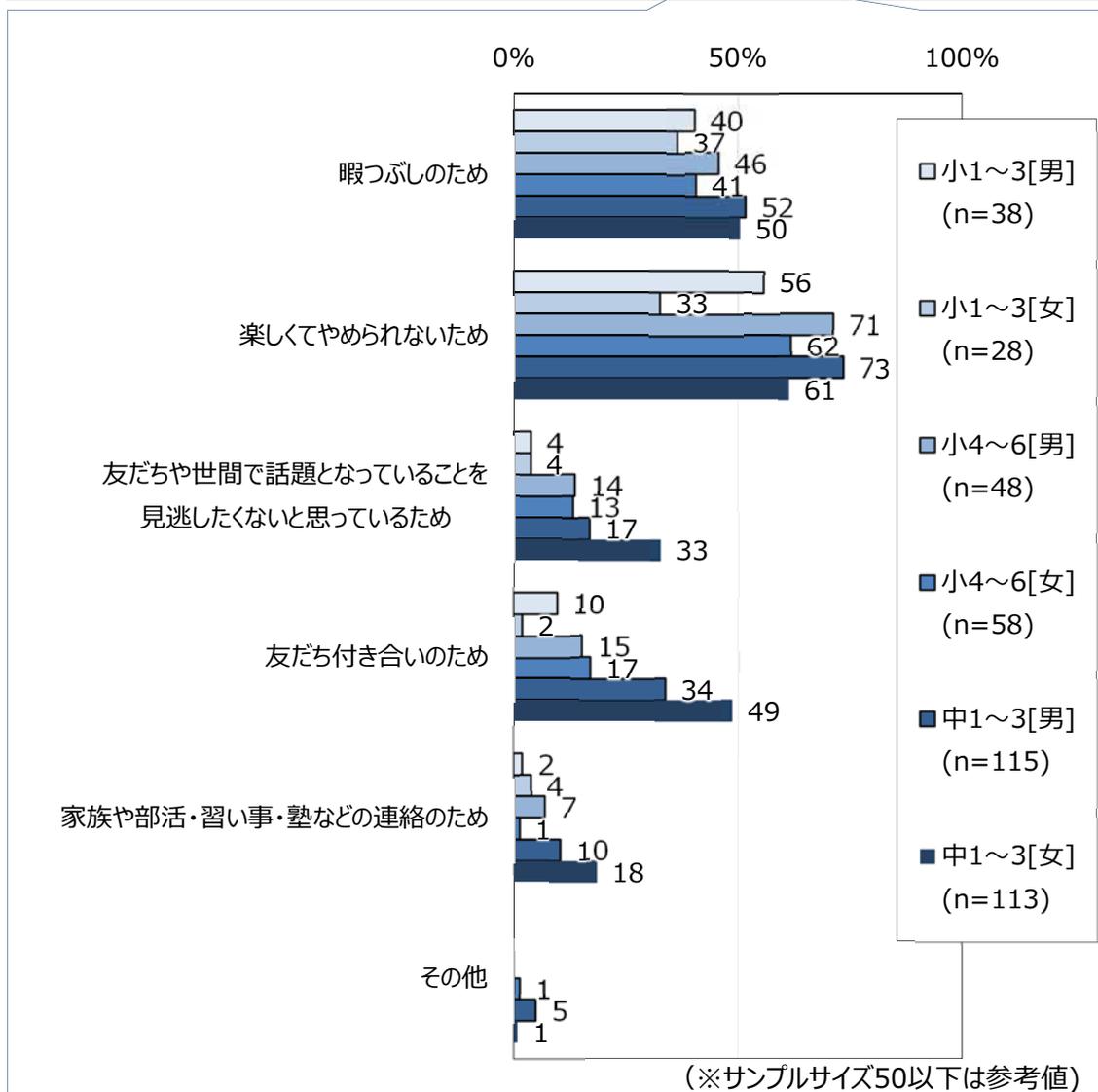
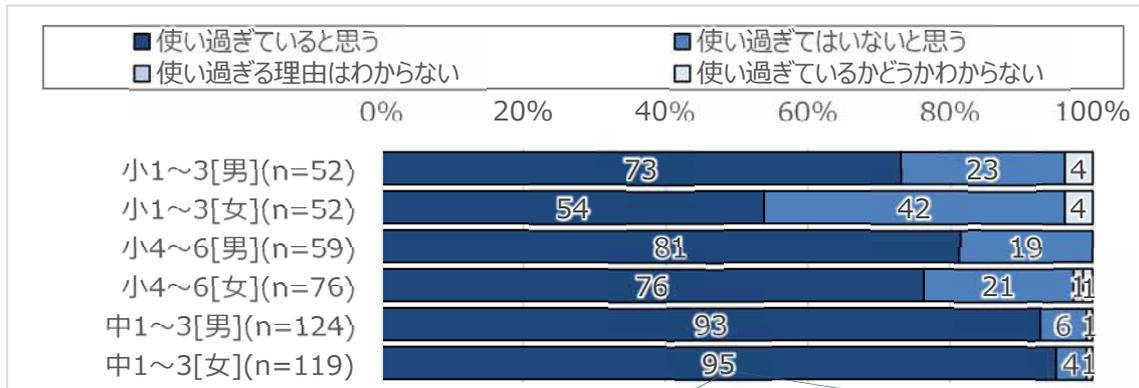


図2. スマートフォンを長時間使い過ぎてしまう理由(性学年別)
 [調査対象：全国のスマートフォンを利用する小中学生の保護者が回答]

モバイル社会研究所では、小中学生の方が安心・安全にスマートフォンを利用していただくためのガイドや、親子間のルール作りのポイント、スマホ・ケータイ安全教室のご案内を下記の URL で公開しています。ぜひご家庭・学校でご活用下さい。

<<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/>>

2. 調査概要 —子どものケータイ利用に関する調査 2019—

調査方法	訪問留置調査
調査対象	全国在住の小中学生の子どもとその保護者
有効回答数	1,000 組の親子
サンプリング	層化二段抽出[クォータサンプリング法(都市規模別性年代)] 7~15歳の都市規模別人口構成比に応じて、町丁目(50地点)を比例配分して抽出し、抽出された町丁目において、7~9歳、10~12歳、13~15歳の都市規模別性年代人口構成比に応じて個人を割り当て、該当者をランダムウォーク法で抽出
調査時期	2019年9月

■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がありましたら、下記までご連絡ください。
株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com